

フィリップ FX 取引システム ウェブ版 お取引マニュアル

目次

はじめに	2
推奨環境	2
ログイン方法	2
1.取引画面の見方について	4
取引レート画面	4
注文一覧画面	5
保有ポジション画面	6
口座情報画面	7
決済履歴画面	8
2.サイドメニューについて	10
取引メニュー・通貨の設定・チャート・ウインドウ	10
レイアウト・情報・ヘルプ	11
3.注文の仕方	12
新規注文-成り行き	12
新規注文-指値•逆指値	13
プライスアラートについて	15
決済注文-成り行き	16
決済注文-指値/逆指値	18
①新規注文と同時に発注する場合	18
②保有ポジションへ指値/逆指値を設定する場合	20
③発注した新規指値へ指値/逆指値を設定する場合	22
ポジションのヘッジ(両建て)について	24
4.チャートについて	25
ツールバーの操作について	25
テクニカル分析ツールの表示について	26
5.Market Win 24	27
6.取引履歴レポート(取引報告書)	29
Account Statement (取引レポート)	30
Trading Statistics	31

1

2013年12月10日作成



◇推奨環境

Java が必要 (Java 1.6 以降のもの)

Windows: Vista, 7, 8

Mac: Leopard 以降のものに対応

◇ログイン方法

1. 弊社のホームページ(http://www.phillip.co.jp/fx/)にある「口座ログイン」ボタンをクリック



2. 「FX 取引ログイン」というページが開きますので、ウェブ版の欄にあるオレンジの「ミニロ座」を クリックします。

フィリップFX ログイン一覧



デモロ座の場合は「詳細はこちら」をクリックし表示される青い「デモミニロ座」をクリックします。

デモ用:ログイン

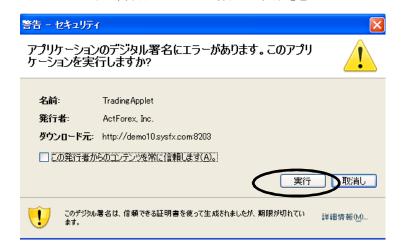


※以下の URL から直接上記のページを表示することができます。

http://www.phillip.co.jp/fx/fx_login.php



3. 以下のような警告画面が出た場合は「実行」をクリックしてください。



4. ログイン画面が開きますので、ユーザーID とパスワードを入力して「Login」をクリックします。



5. 以下のような取引画面が開きます





1.取引画面の見方について

取引レート画面(為替情報)

取引レート画面は弊社ディーリングデスクから提供される現在執行可能なレートを表示します。取引レート画面は 個別の通貨ペアの取引レート画面で構成されています。

取引レート画面の例



※通貨ペアの表示位置は個々の通貨ペアをクリック、ドラッグすることによって自由に配置を移動できます。 指定の通貨ペアの上にカーソルを合わせクリックし、カーソルが に変わったら、移動して面上の好きな所にドラッグし配置変更を行います。

この取引レート画面では簡易表示モードと詳細表示モードを切り替えること現状での取引レートだけではなく、その日の高値や安値を確認することもできます。

<簡易表示モード/詳細表示モード切替方法(各画面共通)>

取引レートの上にあるスイッチで切り替えます。左側クリックで簡易表示、右側クリックで詳細表示です。





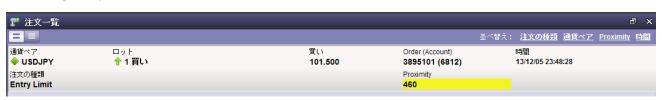
取引レート画面・詳細表示の例



注文一覧画面

注文一覧画面は現在出されている全ての指値(逆指値)注文に関する情報を表示します。注文の変更と削除もここで行えます。

注文一覧:簡易表示



注文一覧•詳細表示



Account	お客様の口座番号です
Owner	お客様のログイン ID です
注文 No.	指値(逆指値)の注文番号です
チケット番号	保有中の注文の番号です。決済の指値の場合は記入されています。



注文の種類	注文のタイプです。EL(新規指値)ES(新規逆指値)L(リミット)S(ストップ)
トレールエントリー	トレール幅を設定し新規指値注文を入れた場合、そのトレール幅を表示。
通貨ペア	該当の注文の通貨ペアです
ロット	注文のロット数です。(注文枚数)
買/売	売りまたは買い注文を表します。S(売り)B(買)
Proximity	現在のマーケットレートと設定したレートの差を pip 数で表します。
イフダン(ストップ)	ストップをあらかじめ設定した場合に表示されます
イフダン(リミット)	リミットをあらかじめ設定した場合に表示されます
トレールストップ	トレール幅を設定しストップ注文を出した場合のトレール幅を表します。
OCO	OCO 注文を出した場合の、相対する注文の注文番号を表示します。
時間	注文を出した時のニューヨーク時間を表します。

保有ポジション画面

保有ポジション画面は現在保有しているポジションに関する情報を表示します。純損益の確認や、ポジションの決済、ストップ・リミットの設定が行えます。

保有ポジション・簡易表示



保有ポジション・詳細表示



Account	お客様の口座番号
口座種類	口座の種類です。T(通常口座)G(グループ口座)
Owner	お客様のログイン ID
チケット番号	保有中のポジションの番号です。
通貨ペア	保有ポジションの通貨ペアを表示します。
ロット	保有ポジションのロット数を表します。
買/売	保有ポジションが売りか買いかを表します。S(売り)B(買い)
建値	成立したレートを表します



決済	保有しているポジションを現時点で決済する場合のレートです。
ストップ	ストップ注文を出した場合には、ストップレートを表示します
トレールストップ	トレールストップ注文を出した場合のトレール幅を表します。
リミット	リミット注文を出した場合には、リミットレートを表示します。
損益 P	現在のポジションに発生している損益を累計ピップ数で表示します。
ロットあたり損益	1ロット(枚)あたりの損益をピップ数で表示します。
Interest	現在保有しているポジションに発生している金利を表します。
含み損益計	保有ポジションの含み損益だけでなくスワップ金利を合計した損益額です。
時間	ポジションが成立した時のニューヨーク時間

口座情報画面

- 口座情報画面は取引口座に関する情報を表示します。可能証拠金、残高比率、残高等が確認できます。
 - 口座情報画面 · 簡易表示



口座情報画面·詳細表示

₽ □座	情報															∄ X
Account	□座種類	Owner	預り金	残高	使用証拠金	可能証拠金	残高比率	Mコール		建玉	Interest	建玉手数料	含み損益計	決済手数料	DA	口座状況
6812	TST	cs	1 045 116	1 710 106	582 000	1 128 106	294	N	34%	14	21 349	0	686 339	0	1	Y

	T
Account	お客様の口座番号
口座種類	口座の種類です。T(通常口座)G(グループ口座)
Owner	お客様のログイン ID
グループ	グループロ座に属する口座を保有している場合のみグループ ID を表示
預り金	現在口座に預けられている金額。スワップ金利は利益が出た場合は加算、損失が出た場合
	は減算されていきます。損益はポジションを決済した後に反映されます。
残高	預金から純損益を足し引きしたもの。使用証拠金と可能証拠金の合計額
使用証拠金	担保されている証拠金の合計金額。ポジションを決済すると、返還されます。ただし、マージ
	ンカットの際のスリッページ分の損失額は使用証拠金から減額されます。
可能証拠金	取引に使用可能な余裕金。残高から使用証拠金を引いたものです。可能証拠金がゼロ以
	下になると強制ロスカット(マージンカット)になります。
残高比率	残高が使用証拠金に占める割合。100%になると強制ロスカット(マージンカット)になります。
	この比率は低ければ低いほど強制ロスカットに近くなります。
	残高比率=残高÷使用証拠金×100
Mコール	口座に対して、マージンカット(強制ロスカット)が発生したかどうかを確認できる。Y(マージ
	ンカットが発生しており処理中のため取引ができない)N(マージンカットが発生していない)



Margin	100%になるとマージンカットになります。この比率は高ければ高いほどマージンカットに近く
Utilization	なります。使用証拠金÷残高×100
建玉	保有しているポジションの合計枚数
手数料	手数料を表示
Interest	保有ポジションに発生しているスワップ金利
含み損益計	保有ポジションの含み損益だけでなく、スワップ金利と手数料を合わせた損益額です。
DA	規定のロット数を表します
グループ	グループ名を表示
口座状況	口座が取引可能か表示。Y(口座が取引可能)N(口座が取引不可能)

決済履歴画面

直近の30件の決済履歴が確認できます。取引に関する詳細は、取引履歴レポートで確認できます(30 ページの

<u>アカウントステートメント「取引履歴レポート」</u>をご参照下さい)

決済履歴画面 · 簡易表示



決済履歴画面•詳細表示



Account	お客様の口座番号
口座種類	口座の種類です。T(通常口座)G(グループ口座)
チケット番号	ポジションの番号
通貨ペア	取引された通貨ペア
ロット	取引量をロット数(枚数)で表示
買/売	B=買い S=売り



建値	建玉したレート
時間	建玉した日時
決済	決済されたレート
仕切日時	決済された日時
ロットあたり損益	1ロット(枚)当たりの損益をピップ数で表示
手数料	手数料の合計
Interest	スワップ金利。マイナスの場合は支払われた金利
建玉手数料	建玉する際に課せられた手数料
含み損益計	実現された損益
決済手数料	決済する際に課せられた手数料
Reason	この取引が執行された経緯。L=リミット C=成り行き S=ストップ
ユーザー	該当の取引をしたユーザーを表します



2.サイドメニューについて

取引画面の左側に並んでいるメニューでは見出しをクリックするとそれぞれのメニューが開きます。

取引メニュー

成り行き注文や指値注文、注文の変更や削除ができるメニューです。

イラストをクリックすることでそれぞれの取引を行うことができます。



通貨の設定

ボタンをクリックすることで通貨ペアごとに表示/非表示の切り替えができます。



チャート

新しいチャートでは新規のチャートを表示することができ、チャートを開くでは既に開いたチャートを表示します。 いずれもイラストをクリックして行います。



ウィンドウ

それぞれの画面の表示/非表示の設定を行うことができます。





レイアウト

画面表示を縦に二分割にするか三分割にするかを設定します。列の幅が自動で調整されます。



情報

取引履歴レポートの表示(29ページ参照)やマーケットニュース(27ページ参照)の表示ができます。



<u>ヘルプ</u>

ユーザーマニュアルをクリックすることで取引画面上からこのマニュアルを参照できます。





3.注文の仕方

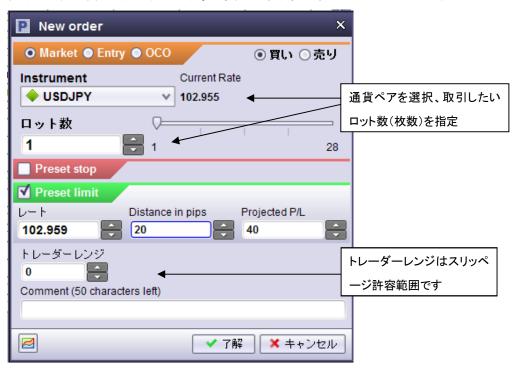
新規注文-成り行き

現在のレートで新しく買う、または売る場合の注文方法です。

1)取引メニューから行う場合、買の場合は上向きの緑の矢印を、売りの場合は下向きの赤い矢印をそれぞれ 左クリックします。



以下のような確認画面が開きます。通貨ペア、取引量、トレーダーレンジを指定し OK をクリックします。



※トレーダーレンジはお客様が注文を出してから注文が確定する前に起こり得る、スリッページの許容範囲を表します。 トレーダーレンジが 0 の場合は、レートが1ピップ(その通貨の最小単位)でも注文に反して動いた場合、その注文は確定されません。

2) 為替情報画面から行う場合は買か売のボタンをクリックし、上記の確認画面が表示されますので、同様に操作します(注:ワンクリックトレードの場合、確認画面は表示されずに発注されます)



注文が成立すると、保有ポジション画面に反映されますので、ご確ください。



新規注文-指值•逆指值

指値・逆指値注文は予め取引をするレートを設定し、相場がそのレートになった時に約定されます。指値注文は、相場が現在より有利なレート(買いの場合は安い値、売りの場合は高い値)で、逆指値注文は、現在より不利なレート(買いの場合は高い値、売りの場合は安い値)を設定する注文です。

1) 取引メニューから行う場合、新規の売りか新規の買いを選択しクリックし、逆指値か指値を選択します。



次のような確認画面が開きます。Instrument

(通貨ペア)、Entry Rate (設定したいレート)、取引量を指定して OK をクリックします。ピップ差は現在のレートとの差を表します。もしストップ・リミット注文を事前に設定したい場合は Preset stop (ストップ注文の事前設定)・Preset limit (リミット注文の事前設定)いずれかまたは両方のチェックボックスにチェックを入れ、表示された画面でストップ/リミット注文を設定してください。(ストップ/リミット注文の事前設定については18ページ「ストップ、リミット、とレールストップの注文をする」をご覧ください)





2) 取引レート画面から行う場合、買か売を選択し、右クリックメニューで指値か逆指値を選びます。



USDJPY を指値で買いの注文を出したい時は、"買"を右クリックします。 下図のメニューが表示されます。



指値か逆指値を選択すると1)と同じ確認画面が出ますので、同様に設定して OK をクリックします。

注文が受付になると注文一覧画面に反映されますので確認ができます。未成立の注文は注文一覧に表示されますが、注文が成立すると保有ポジション画面に保有ポジションとして表示され、注文一覧画面からは無くなります。



プライスアラートについて

プライスアラートを設定すると、相場が予め指定したレートになった時に以下のようなアラートが現れます。(Email 等ではお知らせしません)



OK をクリックするとアラートは閉じます。

プライスアラートの設定方法

設定方法は、希望の通貨ペアの売か買を右クリックし、メニューからプライスアラートを選択します。



下記の画面が開きますので、通貨ペア、売りか買いか、設定したいレートを入力して OK をクリックします。



プライスアラートの確認はプライスアラート画面で行います。

変更や削除はプライスアラート画面上で変更・削除したいアラートを右クリックして操作します。



決済注文-成り行き

現在保有しているポジションを今のレートで決済する場合の注文方法です。 決済する場合には以下の2通りの方法があります。

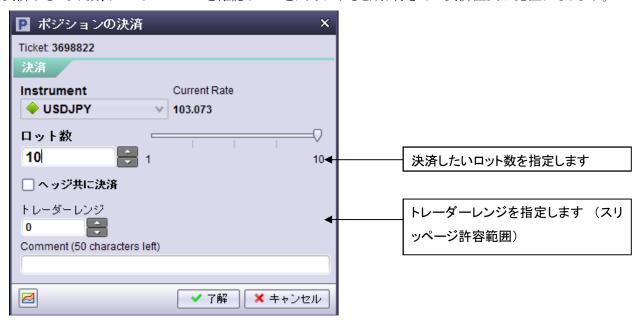
保有ポジション画面から操作をする場合

成り行きでポジションの決済をするには、保有ポジション画面にある決済欄の黄色で表示されるレートが現在のレートです。決済したいポジションの決済をクリックすると、確認画面が表示されますので、決済したいロット(枚)数(複数ある場合)やトレーダーレンジ(スリッページ許容範囲)を設定し、OK をクリックします。トレーダーレンジが0の場合、ディーリングデスクがお客様の注文を受け付けるまでに、もしレートが1ポイントでもそのポジションに対して悪い方向に動いた場合、その注文は執行されません。



操作方法は次の2つのうちいずれかで行います。「決済」欄に表示されている数字を左クリック、または 決済するポジションを右クリックし「ポジションの決済」クリックすると以下の画面が開きます。

決済するロット数、トレーダーレンジを確認し OK をクリックすると成り行きでの決済注文が発注になります。



保有ポジション画面でポジションを右クリックし、ポジションの決済を選択し決済する際には誤ってポジションのヘッジをクリックされないよう充分にお気を付け下さい(両建てのポジションが建ってしまいます)。

※ポジションのヘッジ・両建てについては 26 ページをご覧ください。弊社では取引システム上両建てが出来ますが、リスクを伴いますので、推奨しておりません。ご利用になる際にはリスクをご理解の上行ってください。



取引メニューから操作をする場合

2つ目の方法として取引メニューから決済をクリックします。

この決済方法は、ポジションごとに決済しますので、複数ロット(枚)を同一ポジションでお持ちの場合その全てが 決済されます。



以下のような画面が開きますので、決済したいポジションを選択し(青色に変わります)了解をクリックしてください。 (ここで OK をクリックすると即取引が執行されます)





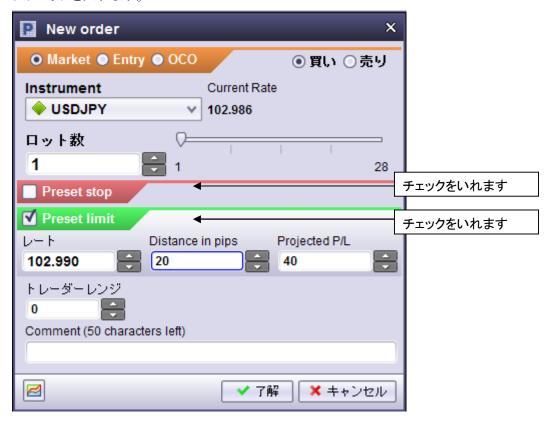
決済注文-指値/逆指値(ストップ、リミット、トレールストップ)注文をする

ストップ/リミット注文は現在のポジション、または新規指値注文が約定した場合にそのポジションを、指定したレートで決済する注文です。ストップ注文は取引レートが保有ポジションに反して動いた場合に予め設定したレートで 決済予約をする注文で、リミット注文は、取引レートが保有ポジションに対して有利に動いた場合に予め設定した レートで決済予約をする注文です。

トレールストップ注文とは、通常注文成立後に相場が保有ポジションに対して有利に動いた場合に、相場が反転した時にも一定の利益を得ることを目的として、相場が反転した時点のレートからの値動きの幅(トレール幅)を設定することによって、ストップ注文が自動的に更新され決済が可能な注文です。例えば、1ドル=100円の時に1万ドル(ミニロ座1ロット)を買ったとし、その後105.00円まで上がり、更に98.00円に下がるとします。その場合トレール幅を100ピップに設定していれば、105.00円から100ピップ(1円)下ですので、104円で決済されますので、100円で当初買った事を考えると、400ピップの利益、つまり4万円の利益が確保されているわけです。トレール注文は為替がポジションに有利に変動している限りストップ注文が自動的に更新され、不利に動き出した時点で、設定したトレール幅でストップレートがロックされます。

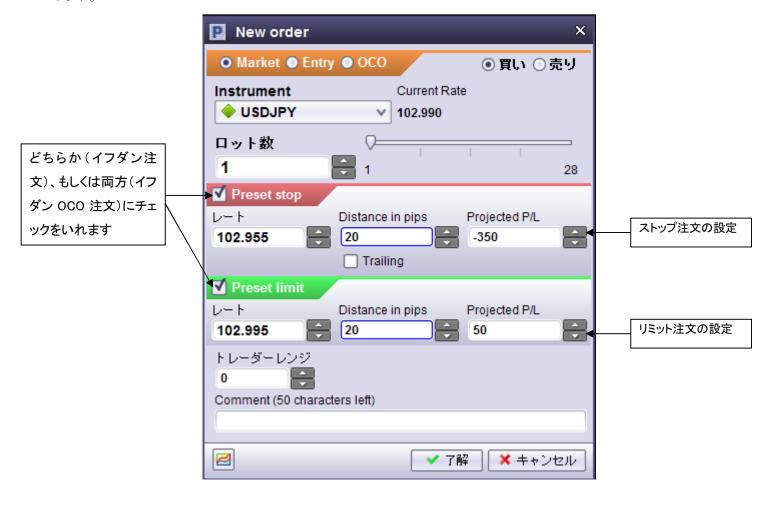
ストップ/リミットの注文方法① 新規注文と同時に発注する場合

新規で成り行きで取引する際に、そのポジションにあらかじめストップ/リミット注文を設定したい時は、まず上記成り行き注文の出し方で「新規」の確認画面を開きます。ストップ/リミット注文を事前に設定する、のチェックボックスにチェックを入れます。





ストップ注文の事前設定・リミット注文の事前設定いずれかまたは両方をチェック後にレートを指定しOKをクリックします。





ストップ/リミットの注文方法② 保有ポジションに対して決済の指値(ストップまたはリミット)を 発注する場合

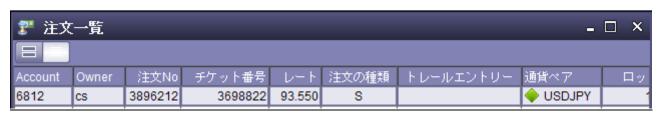
現在保有しているポジションを指定した値段になったら決済したい場合には保有ポジション画面でポジションのストップかリミット欄を左クリックするか、ポジションを右クリックしてメニューからストップかリミットを選び、(選択されたポジションは青くなります)レートを入力して OK を押します。



発注後は「注文一覧」ウインドウで確認ができます。ストップ/リミット注文の種類は「タイプ」で確認可能です。 ストップ注文:S、リミット注文:L、新規指値注文:EL、新規逆指値注文:ES

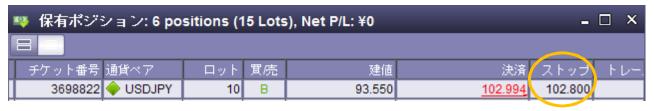
同様に売りまたは買いの別は「売/買」でご確認ください。

買いのポジションの場合は売(S)に当たり、売りポジションの場合は買(B)に当たります。





保有ポジション画面でも確認してください。



トレールストップの注文方法

トレールストップを注文するには、ストップ/リミット注文と同様に保有ポジション画面のトレールストップの欄を右クリックしメニューから Stop/Limit を選択します。(選択されたポジションは青くなります)



トレール幅を指定し、OK をクリックします。

現在のレートに合わせてストップレートが変わります。この場合トレール幅が20ですので、135.757(「決済」表示=現在のレート)から20ピップを差し引いた135.738が表示されています。

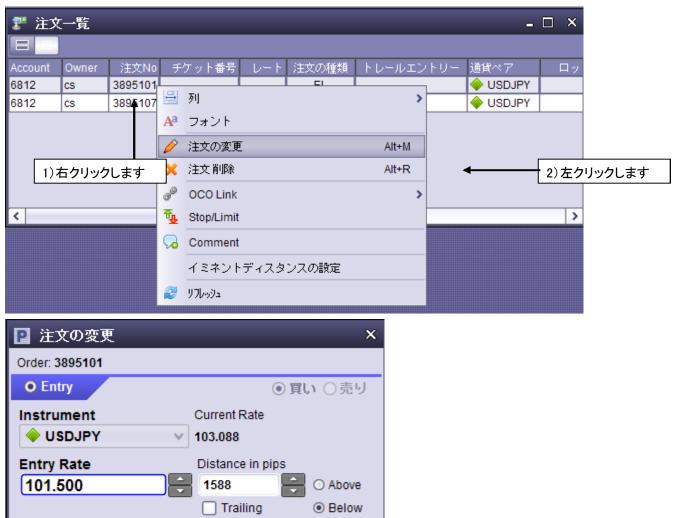
注文は保有ポジション画面/注文一覧画面に反映されますのでそれぞれご確認ください。

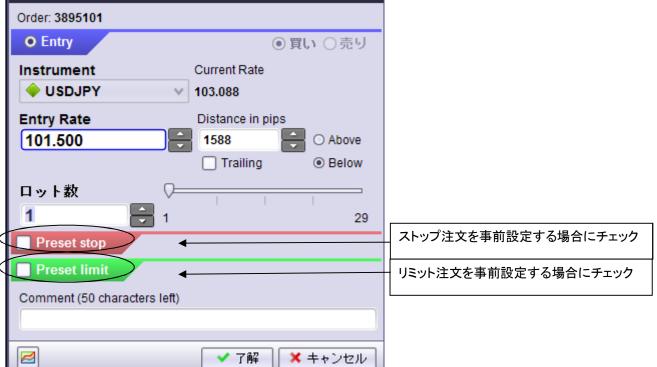


ストップ/リミットの注文方法③ 既に設定している新規建玉の指値注文に対して決済の指値 (ストップ またはリミット)を発注する場合

ストップ/リミット注文は新規建玉の指値・逆指値注文に設定することもできます。指値・逆指値注文が執行された後のポジションは予め設定されたストップ/リミット注文を持つことになります。(イフダン OCO 注文)

注文一覧画面の指値(逆指値)注文の列を右クリックし、メニューでストップかリミットを選びます。(選択された注 文は薄い青枠で囲まれます。)





値段の設定画面が出ますので、レートまたはピップ差いずれかを入力して OK を押します。



OCO 注文

OCO 注文とは、Order Cancel the Other の略で、1つの保有ポジションにリミット注文とストップ注文の両方を設定し、どちらか片方の注文が成立したらもう一方は自動的に取り消しとなる注文です。

また、保有ポジションの決済に対してリミット/ストップ両方を発注する場合だけではなく、新規の指値注文と逆指値 注文を同時に発注する場合に「OCO リンク」を作成することもできます。

(OCO リンクは自動で作成されませんのでご注意ください。



新規の指値注文と逆指値注文を同時に発注する場合に「OCOリンク」を作成する手順は、まず指値/逆指値いずれかを発注し、その発注した注文を右クリックし相手方となる逆指値/指値注文を「OCOリンク」のメニューにある「Set To New Order」で作成します。(OCOリンクの解除は「Unbind OCO」で行います)



ポジションのヘッジ(両建て)について

保有ポジション画面でヘッジ(両建て)したいポジションを選択し(青色になります)右クリックメニューからポジションのヘッジを選択します。確認画面が開きますので、ヘッジしたいロット数を指定しOKをクリックします。両建てのポジションが保有ポジション画面に追加されます。



2つ目の方法は、取引にあるポジションのヘッジをクリックすると現在未ヘッジのポジションが表示されますので、 それに対する両建てのポジションを成り行きで注文することができます。両建てしたポジションを選択し、OK をクリックします。(ここでOKをクリックすると即取引が執行されます)この方法では、ポジションごとにヘッジしますので、 複数ロット(枚)を同一ポジションでお持ちの場合その全てがヘッジされます。





※弊社では取引システム上両建てが出来ますが、リスクを伴いますので、推奨しておりません。もしご利用になる際にはリスクをご理解の上行ってください。お問い合わせはカスタマーサポート 0120-883-308 まで。



4.チャートについて

チャートを出したい場合は、サイドメニューのチャートから新しいチャートをクリックします。通貨ペア選択で通貨ペアを選び、時間軸設定で表示期間を指定します。1分足を選ぶと毎分の値動きが、一時間足で毎時間の値動きが、日足では一日単位の値動きが、週足では週単位の値動きが表示されます。OK をクリックするとチャートが表示されます。

チャートは通貨ペアの値動きを図で表示したもので、直近から中長期まで様々な期間の値動きを見ることができます。チャートの縦軸はその通貨ペアのレートを、横軸は日時を表します。画面左上に表示されているチャート・ツールバーについては、次の項でご説明します。

チャート画面の一例



ツールバーの操作について

+ :十字線の座標位置を示します。画面左上に始値、高値、安値、終値が、縦軸にカーソル位置のレート、横軸にカーソル位置の日時が表示されます。

fw: :投資目的に合わせて分析指標をチャート上に載せることができます。

:アイコンの表示やチャートの背景色の変更などのチャートの一般的な設定ができます。

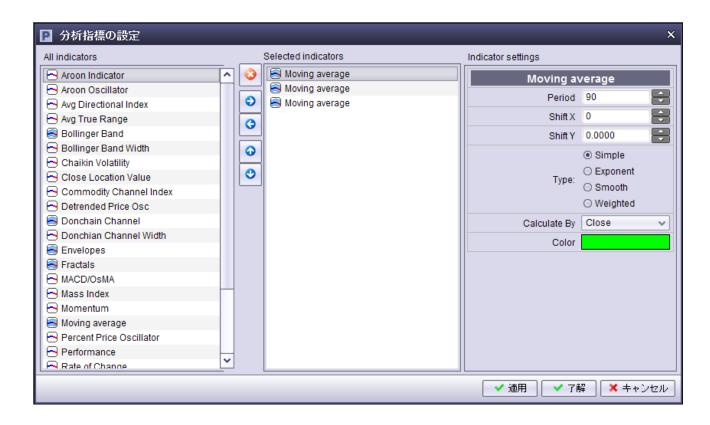
◇ ┆ •• : チャート表示を変更します。左から順にラインチャート・バーチャート・ロウソクチャートです。



テクニカル分析ツールの表示について

fw をクリックすることでテクニカル分析ツールが表示できます。設定は以下の手順で行って下さい。

- 1)左の枠「All indicators」から表示したいツールを選択し、しをクリックします。
- 2) 選択したツールが中央右側の枠「Selected indicators」に表示されます。
- 3)選択したツールの設定を右側の「Indicator settings」で行います。
- 4)他に表示したいツールがあれば上記 1)~3)でさらに追加、なければ「了解」をクリックします。



約30種類の分析指標の中から選択できます。以下に主なものを表示します。

Bollinger Bands (ボリンジャーバンド)

Commodity Channel Index

Envelopes (エンベロープ)

Fractals (フラクタルズ)

MACD/OsMA

Momentum (モメンタム)

Moving Average (移動平均)

Relative Strength Index (RSI)

Standard Deviation (標準偏差)

Stochastic (ストキャスティックス)



5.Market Win 24

フィリップ FX では文字情報のマーケットニュースとして「Market Win24」を配信しています。 ニュースの表示だけでなくテクニカル指標や各国の経済指標速報などがご覧になれます。

表示方法

メニューバーから「情報」→「Market Win 24」を選択します。



別のタブまたはウインドウでニュースが表示されます。以下は一例です。

P フィリップ証券

日時	タイトル	マーケットニュース
2013/12/10 11:15	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカルポイント】スイス/円
2013/12/10 11:14	【市場速報】	ユーロ高、ポンド高、対円やドルで急騰=10日東京外急
2013/12/10 11:05	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカルボイント】ランド/田
2013/12/10 11:05	【主要ニュース】	米英情報機関、ネットゲームも監視対象 = NYタイムズ
2013/12/10 10:59	【主要ニュース】	米財政をめぐる米議会の超党派協議、週内決着見通し=WP紙
2013/12/10 10:57	【市場速報】	円安継続も足もとの売りは一服=10日東京外為
2013/12/10 10:55	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカルボイント】ポンド/ドル
2013/12/10 10:49	【市場速報】	主要通貨仲值 (10日)
2013/12/10 10:45	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカルボイント】ユーロ/ドル
2013/12/10 10:35	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカルボイント】ポンド/田
2013/12/10 10:26	【市場速報】	上海株、寄り付きは0.07%高=10日アジア株式



青字で表記されているマーケットニュースをクリックすると、そのニュースの詳細が表示されます。

P フィリップ証券 A Member of PhillipCapital

日時	タイトル	マーケットニュース
2013/12/10 11:15	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカルポイント】スイス/円
2013/12/10 11:14	【市場速報】	ユーロ高、ポンド高、対円やドルで急騰=10日東京外為
2013/12/10 11:05	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカルポイント】ランド/円
2013/12/10 11:05	【主要ニュース】	米英情報機関、ネットゲームも監視対象=NYタイムズ
2013/12/10 10:59	【主要ニュース】	米財政をめぐる米議会の超党派協議、週内決着見通し=WP紙
2013/12/10 10:57	【市場速報】	円安継続も足もとの売りは一服=10日東京外為
		為替市場における円安基調は継続しているものの、足もとの円売りは一服。ドル/円、クロスとも 港株は昨日クローズに近いレベルで推移しており、為替市場への目立った影響は見られない。 情報提供;FXニュースレター
2013/12/10 10:55	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカル ボイント】ボンド <u>/ドル</u>
2013/12/10 10:49	【市場速報】	主要通貨仲值 (10日)
2013/12/10 10:45	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカル ポイント】ユ ーロ <i>/ドル</i>
2013/12/10 10:35	【テクニカル】	【フィボナッチ・テクニカルポイント】ポンド/円
2013/12/10 10:26	【市場速報】	上海株、寄り付きは0.07%高=10日アジア株式

項目別にソートする

タイトル: ニュースの種類を「テクニカル」、「要人発言」、「経済指標」、「市場速報」、「主要ニュース」に分けてソートします。

日時: ニュースを古い順もしくは新しい順に並び替えが行えます。

マーケットニュース: キーワードでソートします。

通貨: そのニュースが関連する通貨ペアでソートします。

※Market Win 24 は自動更新ではありません。最新の情報を表示するには、ページの右上にあるボタン「このページを更新する」をクリックしてください。



6.取引履歴レポート(取引報告書)

取引レポートは、レポート表示期間内を利用した全ての取引の詳細を表示します。

注)

緊急性の高い日次レポート以外はシステム稼動の安定性のため以下の時間帯にはご覧になることが出来ません。 ご理解の程、よろしくお願い致します。

実際のお取引の場合:

夏時間帯(3月第二日曜日から) 21:00から翌1:00

標準時間帯(11月第一日曜日から) 22:00から翌2:00

デモのお取引の場合:

夏時間帯(3月第二日曜日から) 20:00 から翌3:00

標準時間帯(11月第一日曜日から) 21:00から翌4:00

レポートを見る

メニューにある「情報」をクリックし**レポート**を選択することで表示できます。

レポートをクリックすると以下の画面が開きます。



この画面では「Account Statement」という取引レポートと「Trading Statistics」という取引統計の閲覧が可能です。



Account Statement:「取引履歴レポート」

アカウントステートメントで指定した期間の取引履歴を閲覧することができます。

今月の損益はいくら?また去年は年間での損益どうだった?という場合に使用します。

レポートの表示は以下により行ってください。

1)レポートの表示期間(Report Period) を選択します。

次の中から選択することができます。

日次	前日のニューヨーク 17:00 より現在まで					
週次	その週の初めから現在まで					
月次	その月の初めから現在まで					
四半期	現在の四半期。現在が 12 月なら 10 月から現在まで					
年次	その年初より現在まで					
開設以来	口座を開設してから現在まで					
前月分	前月の1ヶ月間					
Previous quarter	現在の四半期のひとつ前の四半期。現在が12月なら7月から9月まで					
Previous year	前年の年初より年末まで					
ユーザー設定	レポートを表示したい期間を自由に設定できます。設定は必ず月/日/年(西暦					
	下 2 桁)の形式を使用してください(米国東部標準時で入力してください)					

- 2) 複数の口座をお持ちの場合は口座を選び、簡易表示にするかどうかのチェックを確認します。
- ※ この時、簡易表示を選択してレポートを出すと、建て玉と決済玉が紐付けされ決済した順番に表示 されます。
- 3)ページの列や文字のサイズを指定します。表示したレポートを印刷する場合には「ページの列」を 「ページ数なし」と選択されることをお薦めします。
- 4)上記1)~3)の入力項目を確認し、右下にある「レポート」をクリックします。
- 以下は取引レポートの例です。

Account Statement (This report is in EST/EDT time format)



本店

東京都中央区日本橋兜町 4章 本店別館 東京都中央区日本橋兜町 47

□座番号: 12/09/2013 17:00:00 開始日時: 面容住所: 终了日時: 12/09/2013 21:51:03

基準通貨: ¥ (JPY: Japanese Yen)

								A	CCOU	NT TRANSACT	TIONS (単	幸也)
クローズ日時	種別	Trade ID	Trade Size	番号	通貨ペア	巾沙	売買	オープン日時	建值	Open Notional value	仕切値	Clo Noti val
期間中損益総計												
取引損益計												

	現在保有のポジション								ジション
Trade ID	番号	Instr. Type	通貨ペア	በታት	売買	建值	Open Notional value	オープン日時	Trade Charge



取引統計(Trading Statistics)

Trading Statistics をクリックすると以下のような画面が表示されます。



レポートの表示は以下により行ってください。

1)レポートの表示期間を選択します。

次の中から選択することができます。

日次	前日のニューヨーク 17:00 より現在まで
週次	その週の初めから現在まで
月次	その月の初めから現在まで
四半期	現在の四半期。現在が 12 月なら 10 月から現在まで
年次	その年初より現在まで
開設以来	口座を開設してから現在まで
前月分	前月の1ヶ月間
Previous quarter	現在の四半期のひとつ前の四半期。現在が12月なら7月から9月まで
Previous year	前年の年初より年末まで
ユーザー設定	レポートを表示したい期間を自由に設定できます。設定は必ず月/日/年(西暦
	下 2 桁)の形式を使用してください(米国東部標準時で入力してください)

2) 通貨ペアを選ぶ

取引している全通貨(All Instruments を選択)、または指定した通貨のみのレポートを表示させることができます(通貨ペアを選択)。複数の通貨を選ぶには、Ctrl を押しながら表示させたい通貨ペアをクリックすることで複数の通貨ペアを選択することができます。

3)表示したいレポートの設定が終わったら、右下にある「レポート」をクリックします。



Trading Statistics の中身

取引の統計は次の4つに分類されます。

Winning Trades 利益が発生した取引 Losing Trades 損失が発生した取引

Even Trades 利益も損失も発生しなかった取引

Overall 全ての取引

取引統計の説明

Profit/Loss(P/L)	選択した口座や通貨における、純損益
Trade Count	選択した口座や通貨における、取引の数
Lot Count	選択した口座や通貨における、ロット数(枚数)
Average Lots per Trade	選択した口座や通貨における、1取引あたりの平均ロット数
Average P/L Trade	選択した口座や通貨における、1取引あたりの平均損益
Max P/L per Trade	選択した通貨における、最も高い損益の出た取引の純損益高
Average P/L per Lot	選択した口座や通貨における、1 ロットあたりの平均純損益
Max P/L per Lot	選択した口座や通貨における、1 ロットあたりの最大損益
Longest Trade Time	選択した口座や通貨における、最も長くポジションを保有していた取引
Shortest Trade Time	選択した口座や通貨における、最も短くポジションを保有していた取引
Average Trade Time	選択した口座や通貨における、ポジションを持っていた平均期間

注:全ての取引で利益または損失が発生した場合は、Even Trade の欄に何も表示されません。